金沢市立病院　地域連携室通信

スクラム

Vol.67

2021.10

《 子宮頸がんの予防について 》

産婦人科 科長　金谷　太郎

現在当院産婦人科で力を入れている領域は、①ウィズコロナ時代のお産、②支援が必要な妊産婦さんへの働きかけ、③子宮筋腫と卵巣腫瘍の開腹・腹腔鏡手術、④月経痛と更年期障害に対するホルモン治療の勧め、⑤子宮頸がんの早期発見と予防、などです。すべてが重要でひとつひとつ説明したいのですが、本稿では特に子宮頸がん予防についてのお話をします。

子宮頸がんは検診によって早期発見が可能です。ヒトパピローマウィルス（HPV）の感染が主な原因であり、出産を希望される若い女性にも多く認められるのが現在我が国の問題点でもあります。一般的には、正常→HPV感染→異形成（前がん病変）→上皮内がん→進行がんのような経過をたどり、HPV感染後も大多数は自然治癒しますが異形成以上に進行してしまった場合には手術が必要となることもあります。

おかげさまでここ最近、近隣の先生方から子宮頸部細胞組織診の精査・手術依頼が増えました。子宮頸がん検診で異常を指摘された場合でも個々に対応は異なり、細胞診やHPV検査で経過観察すべき場合のほか、組織検査や子宮頸部円錐切除術が必要となる場合、子宮全摘や高次医療機関への紹介など、それぞれの患者さんに最も適した方法を相談させていただきます。

もう１つお話しておきたいのが、HPV予防ワクチンの接種勧奨の再開です。定期接種対象者は小6～高1女性であり、申請いただければ無料でHPV予防ワクチン接種を受けることが可能です。効果や副反応等をすべてお話しすることは紙面では不可能ですが、若い世代に対する接種はリスクよりもメリットの方が遥かに大きいと考えます。新型コロナウィルスワクチンが希望者に行き渡った後にこの領域の集団免疫も獲得されれば、子宮頸がんの発症は大幅に減少すると信じています。

HPVワクチンや子宮頸がんのこと以外でもホルモン治療や手術、当院での出産をご検討いただける場合など、ぜひご相談いただけると幸いです。

All Rights Reserved Copyright 2021 Kanazawa Municipal Hospital

《 造血器悪性腫瘍における新薬開発について 》

血液内科 科長　林　　朋恵

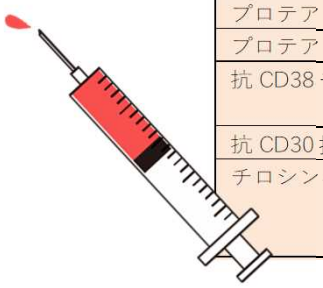
新型コロナウイルス感染症の流行により、医療提供体制にも大きな変革が求められている昨今ですが、日本人の死因統計においては依然悪性腫瘍が第1位を占めており、悪性腫瘍の克服がwithコロナ時代でも喫緊の課題であることは間違いありません。

実際、悪性腫瘍の診断、治療は日々進歩しており、その開発スピードはさらに加速しています。中でも造血器悪性腫瘍における新薬の開発ラッシュには目を見張るものがあり、世界初承認された二重特異抗体ブリナツモマブ、CAR-T細胞療法、新たな分子標的治療薬ベネトクラクス、オビヌツズマブなど、枚挙にいとまがありません。こうした新規薬剤はすべての患者に使用できるわけではありませんが、治療選択肢が増えることによって、合併症を有する高齢患者にもよりよい治療を提供できるようになっています。当科では、こうした新規薬剤の恩恵を最大限に活かせるよう、近隣の関連病院とも連携し、患者ひとりひとりにあった治療を提供できるよう尽力していきたいと思っています。

血液内科診療は、検査、診断から治療に至るまで、様々な部門スタッフの協力なくしては成立しません。引き続きワンチームとして血液疾患患者を支えられるよう努めてまいります。原因がはっきりしない血球減少（白血球減少、貧血、血小板減少）、リンパ節腫脹、血球増多など血液疾患を疑う所見を有する患者さんがおいでましたら、いつでもご相談ください。

過去5年間に新たに保険適用となった造血器悪性腫瘍に対する新規薬剤の例

	薬剤名	適応疾患
二重特異性 T 細胞誘導抗体	ブリナツモマブ	再発・難治性 B 細胞性急性リンパ性白血病
CAR-T 細胞療法	チサゲンレクルユーセル	再発・難治性大細胞型 B 細胞性リンパ腫 再発・難治性濾胞性リンパ腫
	アキシカブタゲンシロルユーセル	
	リソカブタゲンマラルユーセル	
抗 CD79b 抗体薬物複合体	ポラツズマブ・ベドチン	再発・難治性びまん性大細胞型リンパ腫
BTK 阻害剤	チラブルチニブ	再発・難治性中枢神経系原発リンパ腫
	イブルチニブ	再発・難治性マントル細胞リンパ腫に効能追加
アルキル化剤	チオテパ	自家造血幹細胞移植前治療
CD20 モノクローナル抗体	オビヌツズマブ	CD20 陽性濾胞性リンパ腫
抗 SLAMF7 モノクローナル抗体	エロツズマブ	再発・難治性多発性骨髄腫
プロテアソーム阻害剤	カルフィルゾミブ	再発・難治性多発性骨髄腫
プロテアソーム阻害剤	イキサゾミブ	再発・難治性多発性骨髄腫
抗 CD38 モノクローナル抗体	ダラツムマブ	多発性骨髄腫 全身性 AL アミロイドーシス
抗 CD30 抗体薬物複合体	ブレンツキシマブ・ベドチン	末梢性 T 細胞性リンパ腫効能追加
チロシンキナーゼ阻害剤	ボスチニブ	再発・難治性慢性骨髄性白血病 再発・難治性 Ph＋急性リンパ性白血病
	ポナチニブ	初発慢性骨髄性白血病に効能追加



All Rights Reserved Copyright 2021 Kanazawa Municipal Hospital

《 栄養指導の新たな取り組みについて 》

栄養管理室（管理栄養士）　　吉岡　光代

栄養管理室では、今年度から内分泌・糖尿病内科科長の小池医師が室長となり、小池室長のもと病棟における栄養管理やＮＳＴ回診、オープン外来栄養指導（下記参照）などを行っています。また、令和２年度診療報酬改定に伴い、患者様により効果的な栄養指導が提供できるよう、新たな取り組みも行っています。

まずは、外来栄養指導の継続的フォローアップとして、情報通信機器を用いた栄養指導を行っています。１度目は当院に来院して栄養指導を受けていただくことが必要ですが、それ以降は電話などで月1回程度の栄養指導を受けることができます。ご多用で来院できない方や定期受診以外で食事の確認を行いたい方にご活用いただいています。

次に、外来で化学療法を行う患者様に対して、外来点滴室で化学療法を行いながら栄養指導を受けていただくことが可能になりました。化学療法中は副作用による体調不良などにより、栄養指導を計画的に行うことが難しかったため、患者様の個々の状況に合わせたきめ細やかな栄養指導を継続的に実施できるようになりました。

最後に、入院中に特別な栄養管理を行った患者様が退院される際には、現状の栄養管理について栄養指導を行い、転院先や施設へ栄養情報提供書を送付させていただいています。切れ目のない栄養管理が行われるよう取り組んでいます。

このように新たな取り組みと、従来からの「オープン外来栄養指導」も行っていますので、食事にお困りの患者様がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。

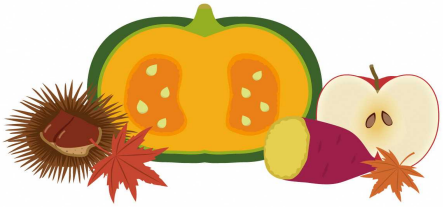
オープン外来栄養指導

栄養指導室に管理栄養士が常駐し、当日予約なしでも栄養指導を受けることが可能です。

◇ 時　　間：平日9時～15時まで
◇ 場　　所：1階 栄養指導室
◇ 指導時間：20～30分

栄養相談室は１階麻酔科の奥に移転しました

明るい空間で１回に２名までご利用できます



All Rights Reserved Copyright 2021 Kanazawa Municipal Hospital

《新任医師のご紹介》

～１０月に３名の医師が着任しました～

眼科科長
やまだ ゆいこ
山田　結子
[得意分野]
眼科一般

金沢大学附属病院から異動してきました。
地域の皆様のお役に立てるようがんばりますので、よろしくお願いいたします。
目についてお困りの患者様がいらっしゃいましたら、ぜひご相談ください。

循環器内科医長
いけだ たつのり
池田　達則
[得意分野]
循環器全般

医師２１年目になります。
前任は富山県の厚生連高岡病院で、１１年間勤務しておりました。
この度、地元の金沢で働く機会をいただきまして、地域の方々のお役に立てますように努めてまいります。
よろしくお願いいたします。

脳神経外科
おいかわ のぞむ
及川　希望
[得意分野]
脳外科全般

１０月から赴任した及川希望と申します。
金沢大学附属病院より異動してきました。
今後ともよろしくお願いいたします。

※週３日、令和３年12月末までの勤務となります

《第１６回金沢市立病院登録医総会について》

来る令和３年１１月１５日（月）１９時より、
第１６回登録医総会をオンラインで開催します。
参加申込みなどにつきましては、先にお送りしたご案内をご参照いただくか、地域連携室までお問い合せください。
多くの登録医の先生方のご参加をお待ちしております。

金沢市立病院 地域連携室
〒921-8105　金沢市平和町3丁目7番3号
TEL:245-2626（直通）　FAX:245-2693（直通）
http://kanazawa-municipal-hosp.com/

All Rights Reserved Copyright 2021 Kanazawa Municipal Hospital